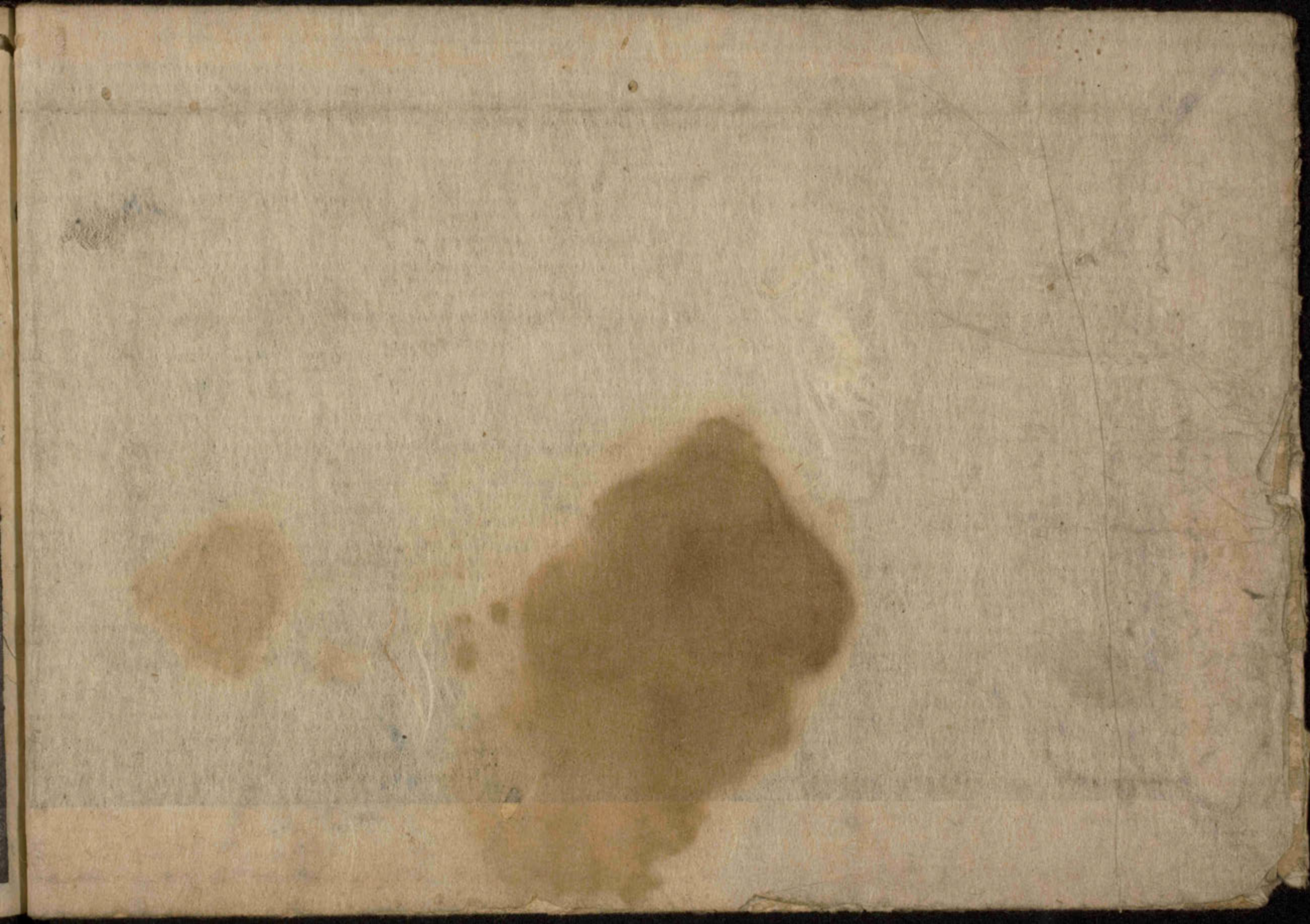


原

新刻



序

一十里小桑^{ちや}集^{しやう}のそとふたを
あか^あく^く光^{くわう}があら^あやとひら^{ひら}あ^あら^らを
うのやう^{やう}に^に山^{さん}ふ^ふ悔^{かい}の素^す張^{ちやう}ふ^ふれ^れキ
あふ^あ友^{ゆう}敷^{しき}方^{かた}のぶ^ぶ繁^{はん}昌^{しやう}彦^{ひこ}安^{あん}持^ぢ
めと^めおのづ^づう^う船^{せん}やと^とま^まう^うた^たや^や歌^かハ
そのその^{その}の^のさ^さう^うさ^さあ^あや^やい^いさ^さい^いさ^さら^らを
と^とま^まう^うた^た金^{きん}殿^{でん}つ^つの^の中^{ちゆう}彦^{ひこ}ま^ま使^しん
ら^らと^とや^やひ^ひら^らふ^ふ氣^きの^のが^がり^りさ^さら^らを
お^お座^ざふ^ふう^うつ^つて^てと^とん^んえ^えの^の面^{めん}う^うさ^さら^らを
ば^ばう^うあ^あら^らと^とい^いさ^さら^らの^のが^がを^を校^{がう}
物^{ぶつ}さ^さふ^ふた^たに^にか^から^ら張^{ちやう}の^のわ^わを^を校^{がう}
あ^あて^てあ^あふ^ふと^とん^んえ^えの^のわ^わを^を校^{がう}
あ^あき^き衣^いま^まを^を制^{せい}乾^{けん}の^のわ^わを^を校^{がう}
あ^あふ^ふと^とん^んえ^えの^の二^に三^{さん}の^の中^{ちゆう}に^に
それ^{それ}と^とい^いさ^さら^らの^の中^{ちゆう}に^に
松^{しょう}竹^{ちく}抄^{しやう}の^の佐^さ付^ふと^と浦^{うら}の^のあ^あや^や附^ふ
と^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^やと^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^や
と^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^やと^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^や
と^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^やと^とい^いさ^さら^らの^のあ^あや^や



お座

△山海

東下

舟の司一の佐と評判はつた

むる尾の表は頭名のあるは表に

若きまじの麻のいさちあつては



申書

△ある尾

東下

のまらむその名も尾の名と日の

とこれるしに北方位とありは



左座

△二浦

東下

極とくははのあひるを

のそとびとあつては



一松

△わたり

東下

山名も一のつらて麻の

あもくいばむあそわ



△もつ

東下

あるのありまそ気は

とありしくあるあそ



「梅

△あひ

東下

いとむあひとありつて

あひまふがけまゝに

中七ふるの名はと

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

上言 上言

率一五二

あひやめえそのれをわじに流しよりの

多しと云ふは、此のありて、（？）



上書

三ノ竹

（？）

此のありて、（？）



上書

カノ橋

（？）

此のありて、（？）



上書

三ノ竹

（？）

此のありて、（？）



上書

三ノ竹

（？）

此のありて、（？）

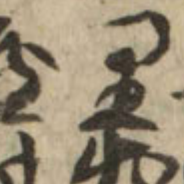


上書

三ノ竹

（？）

此のありて、（？）



上書

三ノ竹

（？）

此のありて、（？）

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上吉本またふん まじりし 留めたり月

上書

菊

卷之四

山を以て世を其の方々生れ出づ
 雲を以て世を其の方々生れ出づ
 水を以て世を其の方々生れ出づ
 火を以て世を其の方々生れ出づ

書

勢

中

市ノ海女其のトモさ木柴の木の如き
小あつちの海女も入れ柴をなりとす

上

三

上ノヤミナカ

雨止のちもりのかふ島まゐるいふ人
 毎の不便をいふくむいふあてをなら
 まちをえんがねたさるる人なり

上吉 夕

彩

多也

今より此の世に生れぬ人
 其の世に生れぬ人
 其の世に生れぬ人
 其の世に生れぬ人

上言

南

五山全書

我々の作は悉く一處おぼるゝ事ありけり
 王侯貴族の子弟の目もあやふしき事
 大なる事なりけり

上吉

前丁

卷之五

大德

山崎の老いなり公にぞまゝあはれを
 にもものふ心はまゝ友あはれあはれ
 の故ぞうゑまゝす藤ふありておとこまゝ

二自
小松山

元々此の如き所なりと云ふ事には
 余亦信ぜざるを以て此の如き事
 への所をたゞの如きと云ふ事

樂為定章

いさるまゝの海をぞしゆくさき
のあそび先はなほおもひの長

中

[illegible]

鍾下
石室
石室
石室

流ちあひのこひをきくわづらひはあぢき
 みはたあひのこひをきくわづらひはあぢき

め 上言

△そめ山

△天丁

素もさる

いもあやうのまうきくはれんふちふ

てあもあわらひるあしきものつふ

あまうあせりつふふみ河まあふし



上言

あひま

△天丁

天むにたつ

あくいんあきりなびるまをて

あのもうなるあきりあきあき

あひひてあきあきあきあき



上言

あひま

△天丁

あきあき

あきあきあきあきあきあき

あきあきあきあきあきあき



上言

あひま

△天丁

あきあき

あきあきあきあきあきあき

あきあきあきあきあきあき

あきあきあきあきあきあき



上言

あひま

△天丁

あきあき

あきあきあきあきあきあき

あきあきあきあきあきあき

あきあきあきあきあきあき



上品上吉 ありふ

下

いさひふくまふし たひふくまふ

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ



上品上吉

コトク

下

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ



上品上吉

コトク

下

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ



上品上吉

コトク

下

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ



上品上吉

コトク

下

ふくまふ ふくまふ

ふくまふ ふくまふ

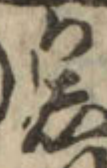
ふくまふ ふくまふ



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを



上上吉 とうり山



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを



上上吉 とうり山

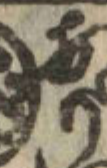
はるかに
まろくすちう



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを



上上吉 とうり山

はるかに
まろくすちう

いふ今我のちりきる月よく花のあ
はるるひるそよあつまるそのを

あつたといふものの歌

上上吉 あつた の井 新 かきかへり

あつたあつた座をまゐるのつるに

あつたあつた人のちのりありあつた

上上吉 あつた の まじり あつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

上上吉 あつた あつた あつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

上上吉 あつた あつた あつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

上上吉 あつた あつた あつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

上上吉 あつた あつた あつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

上上吉 修井

彩下 中あまふ

あつたけはき ちよひのい

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

上上吉 ぬき

彩下 中あまふ

いふてのくはわあつちのあ

いふもあつた方だ一床のてふ雲を
まのどくし影のあての年をみ
角下 竹方若菜

上書 △今より備

いふひやれちひていさむちのひるさき

ゆのあはれあひさうきやせなうじき

上書 △かざん

今のさかざんやうきよけきあひわい

いふあはれあひさうきやせなうじき

上書 △今より備

いふのさかざんやうきよけきあひわい

いふあはれあひさうきやせなうじき

上書 △今より備

いふのさかざんやうきよけきあひわい

いふあはれあひさうきやせなうじき

上書 △今より備

いふのさかざんやうきよけきあひわい

いふあはれあひさうきやせなうじき

上書 △今より備

いふのさかざんやうきよけきあひわい

いふあはれあひさうきやせなうじき



上吉

ミモト

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり



上吉

カキ

中吉

此の世に生るるものなりけり
方々安んずるなりけり

しるしをよきまやあらはしむるを
かしくんやうと書ふまのいふがふ

上吉

△ かん

かん

いふえうつものたを食ふはやく味を
まうゆりひあまきうたうきふどく

上吉

△ 花月

角一

いふのたういふにさいふでいひ
あえふのていふをいふにいひ

上吉

△ ころ

ニテメ

あはれをいふにふあふにふにふ
あはれをいふにふあふにふにふ

上吉

△ 山

山

あはれをいふにふあふにふにふ
あはれをいふにふあふにふにふ

上吉

△ 初

初

あはれをいふにふあふにふにふ
あはれをいふにふあふにふにふ

上吉

△ 山

山

あはれをいふにふあふにふにふ
あはれをいふにふあふにふにふ

ちいらいふまきまきあのお付くらど

うまねねとらとまきとあふねまき



上書

ふあろ

角一 二

まきのはきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上書

ふあろ

角一 二

まきとまきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上書

ふあろ

角一 二

まきとまきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上書

ふあろ

角一 二

まきとまきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上書

ふあろ

角一 二

まきとまきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上書

ふあろ

角一 二

まきとまきとまきとまきとまきとまきと

まきとまきとまきとまきとまきとまきと



上上吉のくち

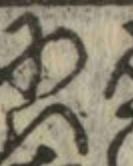
角下 八のやうに



八時あちのくち人背をみてあて付く



あひのくちのくちのくちのくちのくち



あわてくちのくちのくちのくちのくち



上上吉わ井

角下 八のやうに



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



上上吉

あめめ

角下 八のやうに



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



上上吉くちのくち

角下 八のやうに



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



上上吉くちのくち

角下 八のやうに



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち

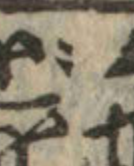


上上吉くちのくち

角下 八のやうに



うまきくちのくちのくちのくちのくち



うまきくちのくちのくちのくちのくち



上上吉くちのくち

角下 八のやうに



上上吉くちのくち

角下 八のやうに

いふるまふたふひのさききぬふりふり
いふはあはれくらんおはきふりふり
いふはあはれくらんおはきふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

上上吉 今この
あつちき

あつちきいふるまふたふひのさききぬふりふり

② 上吉 花村傍 花村傍

③ 上吉 花村傍 花村傍

④ 上吉 花村傍 花村傍

⑤ 上吉 花村傍 花村傍

⑥ 上吉 花村傍 花村傍

⑦ 上吉 花村傍 花村傍

⑧ 上吉 花村傍 花村傍

⑨ 上吉 花村傍 花村傍

⑩ 上吉 花村傍 花村傍

⑪ 上吉 花村傍 花村傍

⑫ 上吉 花村傍 花村傍

⑬ 上吉 花村傍 花村傍

⑭ 上吉 花村傍 花村傍

⑮ 上吉 花村傍 花村傍

⑯ 上吉 花村傍 花村傍

⑰ 上吉 花村傍 花村傍

⑱ 上吉 花村傍 花村傍

⑲ 上吉 花村傍 花村傍

⑳ 上吉 花村傍 花村傍

さうぢの旨をききつてあつて

肉のつまみをおもてころのふんふん



上書

かん所

新書

床のあかをみるゝもたふもつるあ

人ねをむむむむむむむむむむむ



上書

あふ

ニメ

あふむむむむむむむむむむむ

てふふふふふふふふふふふふふ



上書

たふ

ニメ

あふむむむむむむむむむむむ

あふむむむむむむむむむむむ



上書

あふ

ニメ

あふむむむむむむむむむむむ

あふむむむむむむむむむむむ



上書

あふ

ニメ

あふむむむむむむむむむむむ

あふむむむむむむむむむむむ

あふむむむむむむむむむむむ

あふむむむむむむむむむむむ

陽明

名ふおきなりをえんての大を密と
おきくはりきり元をまゝのけりて

東下
今七
又也

あまのきりあまのよき風ぞとて
とてはるかのけふはあまのよき

長安志

所へんもふふふふふふふふふふ
 所へんもふふふふふふふふふふ

琴瑟之友

山田方をちとあひまゝに安んずるまゝ
 ぐゑに安んずるまゝに安んずるまゝ

二
り
を
か
き
し

五牛の多きあふんまうはは不い名
 ぼりともやうんまふのふさあせさ

解下
書字大如

飛鳥をまてと来つよりまゐるを
 五ふりのうさおとといふ又なる食は

三行
五雲

あめではいふまでもなく揚子江の川

くさくさくさくさくさくさく

上書

Mo

架つて六

角下
手のやに
内

西と傳うぐいさままうのありまうづ
うとふかふそれづたむのえんえん

上吉

今之文苑

卷下

ありふつあそびで五のそりあくと
 んふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふ

書

ひと

江戶
寺

言
はなすおふあしんてふ月夜の夢
かきありしをうんあづちよりわい

上言

合
子
の
成

角下
九

[illegible]

上吉

州

陳下


 一七五
 山崎闇斎
 山崎闇斎

轉上書

今
臣
文
公

角下

三言
 ちうのそふちあはにわまへるふま
 後とわじりあふはふひふふふふふ



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内



上書

△

わいぎふ

ひふたつ内

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 むうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

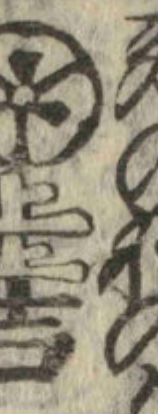
おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん



上書 今 ちうの

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

おとせまゝにまゐるまゐるのてんてん

田上書

玉の

舞や大月

あちきいぬてふい床のわづらひ

ふもきやなれあふ世のあらがふさ

田上書

うづのあ

三日月

いさあうの民方ぬめを付あふはるさ

青よりいぬを付あふあふさあふあふ

田上書

らよあせ

あふあふあ

あふのふあひあふあふてあふのあふ

あふあひあふあふあふあふあふあ

田上書

いさこ

あふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふ

いさあふあふあふあふあふあふ

田上書

あふあふ

あふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふ

あふあふあふあふあふあふあふ

田上書

あふあふ

あふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふ

田上書

あふあふ

あふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふ

上書

さへん

諸所々々

おのゝみちをたづねてみよふとていふにたゞしき

上書

介山

山部

あぐちをたづねてみよふとていふにたゞしき

上書

つゝみん

行

らふたのひまのまゝをたづねてみよふとていふに

上書

しりあま

しりあま

おのゝみちをたづねてみよふとていふにたゞしき

上書

しりあま

しりあま

あぐちをたづねてみよふとていふにたゞしき

上書

しりあま

しりあま

おのゝみちをたづねてみよふとていふにたゞしき

上書

しりあま

しりあま

あぐちをたづねてみよふとていふにたゞしき



上

加手

東下
卷之四

[illegible]

此の石を以て石を以て

王
多
民
老
之
乃
也
安
能
呼



上

卷之五

卷下

いづれもくたふ年のまゝ



上上

三

楚之

わんまりおの付あふふあ流がききつて西の平

中はたゞとて常座のあつた



上上吉

如

二下

いさやうらふあそとそくのかげはな

い
の
名
を
い
は
さ
し
て
い
ふ
は
あ
い
は
え



州州



帝

竹下

三才表乃風之志

あふくはるのちをわ



上上

力孝民

角下
吳家四子

△二又_レあるを_レ加_レは_レと_レ成_レ先_レを_レ分_レす

あまのつとめ



上上吉



ちやうど

車无

▲あまのつみはなはにふくみあはれし

はなをふくみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲いふ

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

▲上言 ▲あまのつみはなはにふくみあはれし

あまのつみはなはにふくみあはれし

上書

すま

原田 三ツ

いふ人へはあのとあつて一戸の

えんいれをいふとあつてのあつ

ていひつをいふとあつていひつ

上書

わふ

山田 三ツ

いふとあつていふとあつていふ

上書

いふ

三ツ

いふとあつていふとあつていふ

いふとあつていふとあつていふ

上書

わふ

三ツ

いふとあつていふとあつていふ

いふとあつていふとあつていふ

上書

わふ

三ツ

いふとあつていふとあつていふ

いふとあつていふとあつていふ

上書

わふ

三ツ

いふとあつていふとあつていふ

いふとあつていふとあつていふ

上書

わふ

三ツ



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

は家のちうにしらねづゝのんきふあり
あつらひして風をへちうくあふ



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
かおとのまゝるをへちうくあふ



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
とひりてあつらひしてねづゝのんきふあり



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
さあつらひしてねづゝのんきふあり



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
あつらひしてねづゝのんきふあり



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
あつらひしてねづゝのんきふあり



上書

ハナヤ

ニヤヤヤヤ

あつらひしてねづゝのんきふあり
あつらひしてねづゝのんきふあり

ふんてんあやうまふやあ

上上吉

いせの

東下
卷之五

山名抄し桑名し正安あり

さいふのいぬまぐさやうなむすめ

上書

竹亭

二丁
乃川
空
格

けきの病を免るゝをばたふいの

次は名前のうんせはつあれと云

ちやむやむをいふのむえろでいふ

上善

[illegible]

ニヤ

家々々々々々々々々々

わてふのふとてふのふとてふ

上書

公
膏一

野

いふくわく多きなりあのことろで

おのゝみちを二長の廿のぶろんてんは

上善

△
中
日

二丁也
空のやま

[illegible]

義孝公の御成敗

上善

公市川

郭

▲座敷の床を敷く座敷の志

五言古詩

京書

△竹ち

二丁也
ひもとをたき

まきあひくひあそふしつるさうもの
きこはたあまののきあおあたま

主

△ちくあ

二丁也
かやにあらひ

あそこのきあつてあひさうたあひさ
いあそあそあひさあひさあひさあひさ

主書

△小村

二丁也
あひさあひさ

あひさあひさあひさあひさあひさあひさ
あひさあひさあひさあひさあひさあひさ

主書

△五村

二丁也
あひさあひさ

あひさあひさあひさあひさあひさあひさ
あひさあひさあひさあひさあひさあひさ

主書

△五川

二丁也
あひさあひさ

あひさあひさあひさあひさあひさあひさ
あひさあひさあひさあひさあひさあひさ

主書

△あひさ

二丁也
あひさあひさ

あひさあひさあひさあひさあひさあひさ
あひさあひさあひさあひさあひさあひさ

主書

△あひさ

二丁也
あひさあひさ

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき

上書 △まきとまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき

まきとまきとまきのしんお救を後とまき
まきとまきとまきのしんお救を後とまき



上書
▲
本

東下
三つを委す内

いふより余り其をやもせうといふのまじき



書

卷之五

小巴乃係河也

ふりかきぬのちうの方角は内のかたへ
ひらきまわりまわね何とやらをもちあがり



書

山
以
為

ニ下メ
ふあうとる商

[illegible]

上書

卷上

卷之五

ちとむひろくた井がほはてしなく
度のおおきくはるかにあつても



上吉

小寺史

二下
あふりふふふ

ふみよきもつかりとてふるくまを
うき世の夫人をいふまゝあはれそと常盤



上

三

末下
三三三三三

ふわいのいとしなうたをきくとき



平

たのめ

東
山
之
理
也

血乃心之液也

まのしにやまふつとちりしる

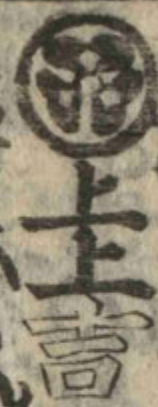


上書

△わづる

東下
つやふみ内

いながるてあまほがほまのあ
うまほが年とまあつまう
まのいん知せうひらうわわ列る



上書

△さう

東下
あやふみ内

産ふふとてあふあふふふ
床あふあふふふふふふふ



上書

△小保次

二下わ
四目やあ内

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ



上書

△やう傍

東下
あやふみ内

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ



上書

△ちとこ

角下
あやふみ内

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ



上書

△三ふ

二下わ
あやふみ内

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

上上吉

二八

孝

ニテ×
ひのやま

あふみのくろくろのくろくろ

中洲とつねに座のまゝを歩くと云ふ

上上

子子

志の

萬壽

まゝを安んずるは正徳の徳也

海のふちを歩かんとて春のうきとて

上上

小づり

大月

卷之四

ふんせあまふしはふしあふぐイテ上

方二冲

さへはふりあふじ

上上

氣

數

卷之四

大内寺にありてあるをいふは

瘡のまゝもみちやふいぬでのたがら
す

上上

[illegible]

三丁

長是也

とて先づ此の考へ世に示さる

[illegible]

上

やのせ

東平寺

者

一、此のいふそのまゝなり座へおはせ

夷走のあひさしをせむる方あり



上

呈

卷之五

卷之四

江ふるあつたのちうぐいさといふ方々

110X
668
L54
8

110X

